



鉄は熱いうちに打て，と言われます

4月9日(火)，国尾PTA会長様をはじめ来賓（若竹教育推進委員），保護者の皆様のご臨席をいただき，入学式を挙行することができました。

赴任校隣の幼稚園長を拝命していた時に，年長さんが春休みを経て，新入生へと顔つきや心もちを激変するのは経験していましたが，今年もピリッと引き締まった『新入生の心意気』を感じました。

改めまして，ご入学おめでとうございます。

この新学期の緊張感は，2～6年生からも伝わってきます。入学式で児童代表歓迎の言葉を伝えた児童（→写真）に代表されるように，見たり聞いたりして知っていることでも，練習を重ねたことでも，本当にその立場でやってみるのは大変です。

小規模校の本校では，新学期に組替えがありません。担任の交代だけです。ですが，新しい学年の新しい担任との生活は，その学年のめざす目標に向かって始まりますので，生活の仕方に変化が生じます。この変化のタイミングでよりよい価値を身に付けると，人はグッと成長します。

新鮮な気持ちで登校する4月は，規則正しい生活リズムづくりに絶好です。

どのようなリズムなのか，一例を紹介します。

- 晩ご飯を食べて，お風呂に入って，布団に入る（21時までには，ゲームやテレビ，ネット視聴は切り上げたいです。放っておけばいつまでもします。依存性があるように開発されていますから）。
- ぐっすり寝て，さわやかに目覚める（睡眠不足では，朝の食欲はわきません）。
- 家族で「おはよう」と声をかけあって適量の朝食を摂ります（エネルギー不足の体や頭では，学校生活は楽しくありません）。
- 着替えて，登校する。学校に着いたら，友だちや先生に自分から「おはよう（ございます）」と挨拶する。自分からがポイントです。学校生活は，他人との生活（社会生活）の練習です。
- 学校では，学習や生活のきまり（これは，基本的に集団生活が気持ちよくできる，安全にできるなどをめざすもの）を守り合うように心がけ，実践します。児童が，最も楽しいと考える休み時間（→写真）も，楽しければ何でも好きなことができるのではありません。衝突も生じますが，そこから，相互理解やルール作りが生まれます。ぶつかった時こそ教師の出番です。勉強と同様に，分からないことや解決できないことを乗り越えて，人は成長します。
- 帰宅後，ご家族の皆様もお疲れと拝察しますが，お子さんに「今日はどうだった」とお声がけください（YesかNoだけで答えにくい尋ね方がお薦めです）。この便りが，話題の一つになれば幸いです。学校の集団生活では決して自由に過ごしていませんので，ご家庭でのリラックス感は大切だと存じます。

